



2018年7月10日

各位

医化学創薬株式会社

平成30年度 ノーステック財団【札幌市補助事業】 「先端研究産業応用検証補助金」採択に関するお知らせ

医化学創薬株式会社（代表取締役社長：伊藤勝彦、札幌市）は、この度、ノーステック財団【札幌市補助事業】「先端研究産業応用検証補助金」に採択されましたのでお知らせ致します。

研究内容は、「糖タンパク特異抗体を用いた新規乳がん診断法の開発」です。細胞、血清を対象として、当社の有する糖タンパク質特異抗体を評価することによって新規乳がん診断法の開発を目指します。具体的には、当社の抗 CA15-3 抗体^{※1}、評価検体として培養がん細胞を用いて、表面プラズモン励起増強蛍光分光法（以降「SPSF 技術」という）^{※2}を利用した検出系を構築し、血清検体に応用することで有用性を実証する計画です。

本研究では、北海道大学病院が有するバイオバンクから検体の提供を受け、コニカミノルタ株式会社の有する SPSF 技術を活用し、北海道大学病院ゲノム・コンパニオン診断研究部門がデータ解析や診断方法を精査する予定となっており、産学連携して推進いたします。

乳がんの罹患率は年々増加傾向にあり、30代後半から急激に増加する傾向が見受けられます。特にマンモグラフィ検査による乳がん検診は若年層の受診率が低いため早期発見が難しい状況にあります。その上、若年層で罹患した場合は進行が極めて早く、早期での診断は切望されています。

当社の有する極めて高い特異性を持つ抗体を活用することで、乳がんの早期診断を実現する有用な診断技術の開発を産学連携で推進し、医薬の発展に貢献してまいりたいと考えております。

※1 抗 CA15-3 抗体：抗膜結合型ムチン 1 抗体

※2 表面プラズモン励起増強蛍光分光法：

表面プラズモン共鳴現象に基づいた高感度蛍光検出技術であり、シグナルの増強とバックグラウンドノイズの低減によって高い S/N 比を得られることが特長となっている。

【医化学創薬株式会社について】

2010年、先端的な糖鎖研究をサポートするとともに、新たな医療を待ち望む人々に役に立つ抗体医薬品を創製することを目的として設立されました。

糖鎖解析・合成を中心とした総合的糖鎖技術 GT-Platform[™]を確立し、これをベースに抗体医薬品創薬システム QuaDRAD[™]を完成させました。これらの技術・システムを基盤にして受託サービス及び創薬事業を展開し、糖鎖及び創薬の研究をサポートするとともに、さまざまな疾患領域の抗体医薬品を継続的に提供し、医療と健康に貢献したいと考えています。

お問い合わせ先

医化学創薬株式会社 事業推進部
〒060-0009 札幌市中央区北9条西15丁目28番地196 札幌 IT フロントビル 3F
E-Mail : mcp@sovaku.co.jp URL : <http://sovaku.co.jp/>